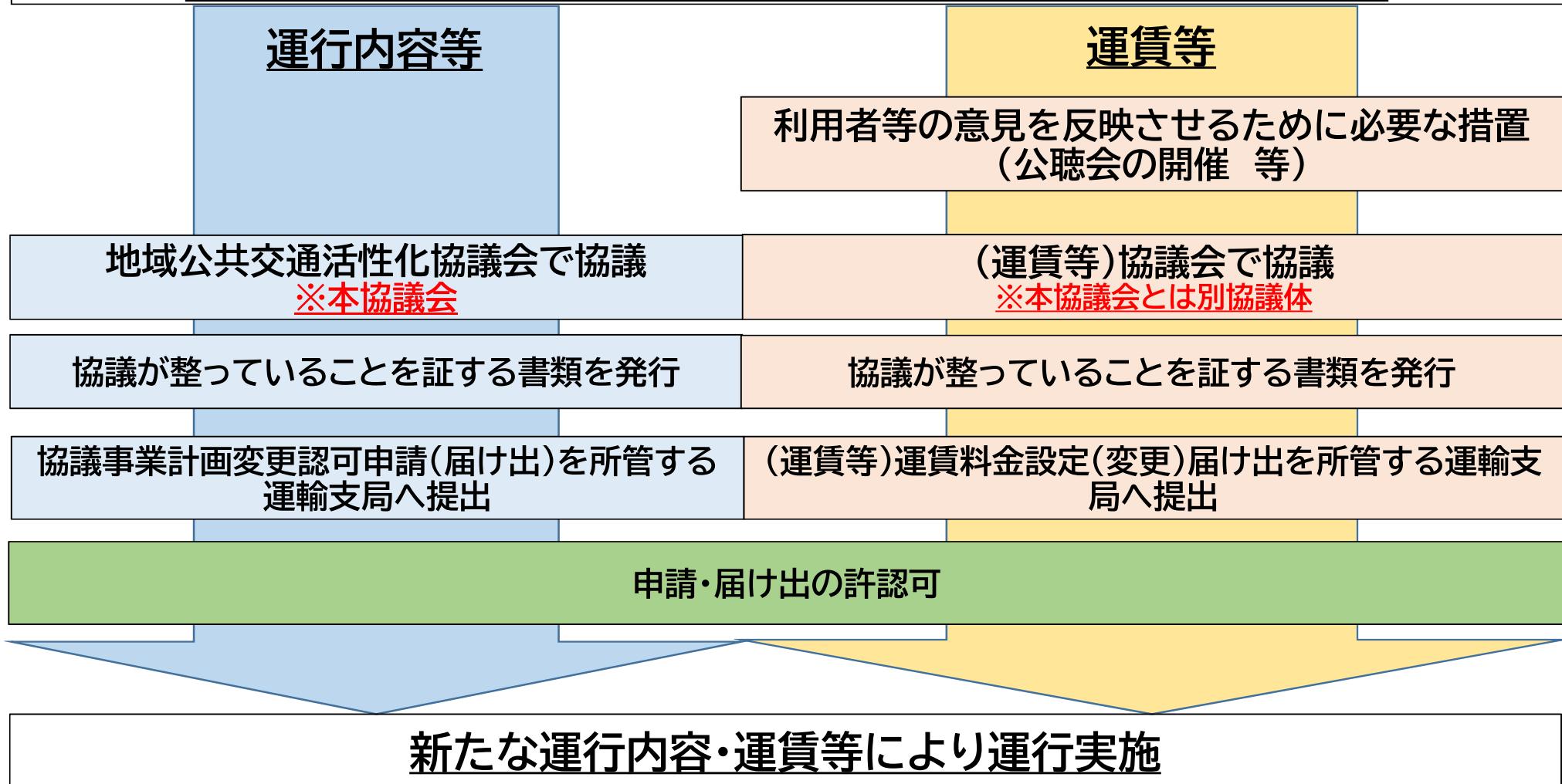


運行内容・運賃の変更にかかる手続き

コミュニティバス等の運行内容・運賃等について検討(自治体等)



千曲市循環バス・デマンド型乗合タクシー料金体系見直しに向けた整理について

1. 背景

- ・千曲市地域公共交通計画において、循環バス・デマンド型乗合タクシーの料金体系の見直しが課題として位置づけられている。
- ・今年度から料金見直しの検討を開始することとしているが、具体的な議論はこれからの段階。

2. 検討項目

- ・料金体系の見直しにあたり、以下について検討を実施（検討のスタートラインと方向性をそろえる）
 - ①どのような目的・考え方で運賃や割引設定を考えるか
 - ②今後どのような観点から議論を深めるか（論点）を共有。

3. 対象サービスと現行料金体系のイメージ

単位:円

4. 利用・収支

	65歳以上 (市民)	大人	高校生	小中学生	未就学児	障がい者		左記介助者	
						市民	市外	市民	市外
循環バス	100※	200	200	100	無料	無料※	半額	無料	半額
デマンド	300	300	200	200	無料	200	200	200	200

～割引制度～

○バス・デマンド共通回数券（100円券×12枚を1,000円で販売。免許自主返納者は1回限り100円券×12枚を無料で配布）

○循環バス定期券（通勤は1か月：7,000円/3か月：19,950円・通学は1か月5,000円/3か月14,250円）

○循環バス1日乗車券（大人500円/割引適用者300円）

※は要事前申請

○利用者の多くは高齢者・通院・買い物利用等、運賃収入だけでは運行経費を賄えず、一般財源等で補填している状況。

→ 今後の路線維持やサービス水準確保の観点からも、料金体系を含めた検討が必要となっている。

料金体系見直しに向けた基本的な考え方と主な論点(案)

5. 料金体系を考えるうえでの「基本的な考え方」(3つの視点)

項目(視点)	内容
①公共性の確保	高齢者・障がい者・自家用車を持たない方など、交通弱者の移動手段を確保すること。
	通院・通学・日常の買い物など、生活に必要な移動が無理なく行える料金水準を維持すること。
②持続可能性の確保	燃料費・人件費等の上昇の中でも、路線・デマンド交通を将来にわたり維持・改善できるよう、収支や財政負担のバランスを考慮した料金体系とすること。
③利用しやすさ・分かりやすさ	料金体系が複雑になりすぎず、市民にとって分かりやすく・使いやすいこと。 必要に応じ、定期券・回数券・乗継割引・キャッシュレス等、利用促進につながるメニューも検討対象とするかどうかを整理。

料金体系見直しに向けた基本的な考え方と主な論点(案)

6. 今後の検討に向けて、整理したい主な論点

項目	内容
①料金水準の方向性	<p>現行水準をおおむね維持しながら、一部の割引・免除・特定利用条件のみを見直すのか。</p> <p>事業の持続性確保のため、基本運賃そのものの見直しを検討対象とするのか。</p> <p>一方で、利用促進を重視し、定期券・回数券・上限運賃等により実質的な負担軽減を図る方向を検討するのか。</p>
②料金構造・社会的配慮の在り方	<p>循環バスとデマンド交通の料金を「同一」とするか「差」を設けるか。</p> <p>高齢者・障がい者・児童生徒・免許返納者など、どの層をどの程度優遇するか(割引・無料・上限設定 等)。</p> <p>福祉施策(福祉乗車券など)との役割分担・連携をどう整理するか。</p> <p>キャッシュレス導入時にも対応できる形式を検討。</p>
③市民・利用者への影響と意見聴取	仮に運賃・割引等の料金体系の見直し(特に値上げ)を行う場合の「利用者への影響の整理」、「丁寧な説明・周知の方法」、「段階的導入や経過措置の必要性」、「パブリックコメント・アンケート」など、市民や利用者の意見をどう聞きながら検討を進めるか。